MonthlyLetter

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（平成27年度～令和元年度）
『地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業』
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学

2019年 11月号 Vol.38 ふくいCOC+

文部科学省 地（知）の拠点

『プレイフル』なフォーラム開催！！ポスターセッションも大盛況！！

11月2日（土）に福井大学で、学生に地域企業への魅力を感じて定着してもらうためには、企業の「採用力」だけではなく「育成力」そして夢中になって働けるフィールドが求められているという社会情勢を踏まえ、地域企業と連携し、『採用から育成までの新概念「プレイフル・クラッシュ」―これからの時代に夢中になれる働き方―』（COC+フォーラム）を開催しました。なお当日は、特色人材育成部会の6分野WGが取り組む15プロジェクトのポスターセッションも実施しました。

このCOC+フォーラムには、学生・企業関係者・大学教職員など約130名の方が参加し、「プレイフル・クラッシュ」というテーマで、同志社女子大学の上田信行特任教授による基調講演がワークショップ形式で開催されました。

フォーラムの様子

上田先生のワークショップは「体を動かしながら、それぞれのセッションごとにワークを通して考えたこと、感じたことを通して意味づけしていく」というところに特徴があり、本フォーラムへの参加者年齢層は20代から70代と非常に幅広いものでしたが、全員がほぼ最初から自分の殻に閉じこもることなく、積極的に真摯に参加され会場が一体となり、楽しみながら他者と関わっていた様子が印象的でした。

今回のワークショップは、参加者全体が、声を出し、体を動かし、似顔絵を描き合うというワークをベースに、トークを交わすこと（ヒーローインタビューと名付けられていました）が、「自己のあり方」（positive coreと名付けられていました）の発見に繋がっていくようでした。そのことが、オープンなマインドセットに繋がり、組織文化を変え、組織内でのキャリア・アップ向上を醸成し、結局のところ、就職の入口にいる学生に伝わるのではと感じました。

ポスターセッションの様子

質問の多かった「プレイフル・クラッシュ」の意味ですが、参加した後の理解としては「楽しみながら（プレイフル）勇気を出して、考えの違う人が出会い、ぶつかること（クラッシュ）で新しい自己を生み出す」と、まとめられるのではと思いました。

ワークショップの後、名刺交換の時間を挟み、ふくいCOC+事業推進責任者である、福井大学 末信一朗理事・副学長から「COC+事業の現状報告」と題し、本事業の4年半の成果と、補助期間終了後となる令和2年度以降についての展望を中心に報告がありました。

一方、フォーラム会場横のホワイエ内で開催された、特色人材育成部会のポスターセッションでは、プロジェクトに携わる教員及び学生が各ブースで質疑応答に対応し、参加した地域の方々の高い関心を集め、会場内は満員の状態で賑わっており参加者の方々へ各事業の取組みの紹介・PRの場となったように思います。このような活動が周知され、高い評価を受け、理解されることを確信しています。

以上のようにフォーラムのご報告を行ってきましたが、本紙面上では字数の制限により十分な記載ができないため、後日、本フォーラムの報告書を発刊予定ですので、是非その活況ぶりをご覧いただけたらと思います。最後になりましたが、準備、ご協力いただきました多くの方々に、心より御礼申し上げます。

（福井大学　総合戦略部門　地域連携推進課　COC+推進コーディネーター　舟木幸雄）

高大接続･高大連携･入試改革WG　地元福井の魅力ある6大学をご紹介！

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC＋事業)」の「高大接続･高大連携･入試改革WG」では、県教育委員会や各高校関係者と連携し、課題探究の取組みなど高大連携接続に関する活動を進め、入試改革に向けた取組みを行いながら高校生の地元進学を応援しています。主な取組みとして、合同進学説明会や高校と大学関係者によるシンポジウムの開催、探究プロジェクト、模擬講義･開放講義等を実施しています。

今回WGでは、地元福井の大学を、多くの人に知ってもらうため、県内の6大学の概要がわかるパンフレットを作製しました。

地元福井の大学には高校生のみなさんが知らなかった魅力や個性がたくさん詰まっています。まずは、6大学の概要を見ていただき、各大学のホームページで詳細を確認してください。各大学は、大学の強みや特色を活かした地域ニーズな人材育成及び産業振興に繋がる研究･開発に取り組み、地域の持続的発展の貢献に努めています。生徒のみなさんにとって、きっと新しい発見があると思います。将来、みなさんが地域貢献の担い手となることを期待しています。

このパンフレットが、みなさんと県内大学との懸け橋になり、多くの生徒が地元福井の大学に進学していただければ幸いです。

（福井大学　学務部入試課　百田辰之様より寄稿いただきました）

学生必読　「ふくい地域創生士® 」申請の締切迫る！

今年の2月に、地域志向科目の単位取得やインターンシップへの参加などの条件を満たした3年生で、各大学から推薦された75名が「ふくい地域創生士®」第2期生として認定されました。これら認定者は就職活動で履歴書資格欄にこのことを記入し、面接の時にアピールできる等、この認定制度を活用しています。また、4年生や大学院生の方は、昨年度から設けている「ふくい地域創生アワード」に申請してみませんか。

「ふくい地域創生士®」

対象学年：1～3年生(※学部により、4年次以降に認定)
選考要件：各大学において定める、地域志向科目12単位以上を取得すること。
地域でのインターンシップ又はこれに類する活動に参加すること。

ふくい地域創生士®
認定申請書を
ダウンロード

「ふくい地域創生アワード」

対象学年：4年生(令和元年度から大学院生も申請可能です。)
選考要件：ふくい地域創生士®として認定されていること。地域の課題解決に繋がる実践活動や地域連携活動の実績、又は地域の持続的発展や、地域産業の振興に繋がる研究成果などの顕著な業績があること。

ふくい地域創生アワード
申請書を
ダウンロード

※　ふくい地域創生士®の資格を持っていない方でも、ふくい地域創生士®の申請要件を満たしていれば、同時申請できます。

編　集　後　記

新しいことや未知の領域に踏み出す必要に迫られる場面では、「今」この瞬間より変わる･小さな一歩の先にはチャンスがあると思い(…言い聞かせ)ありったけの勇気を振り絞り、歩みを止めないようにしています。前面に掲載したCOC+フォーラムに参加し、「プレイフル」(ワクワク、ドキドキ)のエッセンスも取り入れながら、新しい出会いの場･環境に飛び込んでいき、「どうやったらできるのか」というマインドで進んでいきたいと思いました。本事業は取組内容が多岐に渡るため、多くの方のご協力の上に成り立っていることを日々実感します。心からの感謝を込めて。(大林)

〔発行者〕福井大学 総合戦略部門 地域連携推進課　〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号　Tel: 0776-27-9945
E-mail:　coc-p※ml.u-fukui.ac.jp　　ホームページ:　http://www.allfukui-cocp.jp/
【お願い】本稿記載のメールアドレスについては，※部分を「＠」に変えてお送りください。